



学校通信 医生丘小だより

令和5年度 第21号 R6.1.19

北九州市立医生丘小学校

校長 大成 清徳

◇災害への日頃からの備えを 阪神・淡路大震災から29年

◎1月17日(水)の2校時に、地震に備えての避難訓練を行いました。地震発生時には、津波の恐れもあることから、校舎の高層階に避難することが多いのですが、本校は海や河川から離れた高所にあるため、「机の下に隠れる」「避難経路を確認する」「『おさない』『かけない』『しゃべらない』『もどらない』(お・か・し・も)の行動様式に従って、安全に避難する」ことを目的に、運動場に避難する形で実施しました。地震の時は、地割れの恐れもあるため、走らずに避難したのですが、地震発生の放送から、2分51秒という速さで全校児童が集合完了できました。各学級での事前指導が徹底できていたことと、子どもたちの意識の高まりがこの結果につながったと思います。



この日、神戸では、灯籠に明かりをつけ、能登半島地震で被災した人たちとともに助け合おうとの思いを込めた「ともに」や、「1・17」の文字が浮かび上がり、黙とうを捧げる姿がありました。

能登半島地震の被災地では、いまだに余震が続き、不安な日々を過ごされている方が多くいます。いつ、私たちの住む地域が災害に見舞われるかわかりません。今回の訓練を生かして、日頃から災害が起きた時への備えを心がけるように、子どもたちに話をしました。

1月17日は、6434 人ものが亡くなった阪神・淡路大震災が発生した日です。

今から29年前(1995年)のこの日は、3連休が明けた火曜日でした。多くの方がまだ眠っている早朝 5 時 46 分に大きな地震が発生したため、自宅がつぶれたり、家財道具の下敷きになったりして、発生から1時間で、3842 人の方が亡くなったのです。

地面を突き上げるような激しい揺れと、それに続く建物や道路が崩れるすさまじい音に、皆さんと同じ小学生はどれだけ恐ろしい思いをしたことでしょう。きっと、生きた心地がしなかったと思います。

この震災で、家族や親しい人を亡くした人は、29年がたった今でも心の傷が消えていません。二階建ての自宅がつぶれて、当時16歳だった息子さんを亡くした父親は、「自分は家族も守れなかった。壊れない家を建ててやればよかった」と悔やみ続けています。21歳の娘とともに生き埋めになった母親は、娘を亡くして自分だけが生き延びた苦しみから、その後の人生を一度も希望をもてずに生きて来たと振り返っています。

その後も、地震列島といわれる日本では、東日本大震災、熊本地震、そして、年明けに発生した能登半島地震と、大きな災害が発生し、その度に、尊い命と当たり前の生活が一瞬で失われる悲劇が起きています。能登半島の被災地で、今この時も余震と寒さに耐えながら避難所で暮らす方々や、不眠不休で支援にあたっている方々の苦勞を思うと、1日も早い復興を願わずにはいられません。そして、今のところ地震の被害を受けずに暮らしている私たちは、震災から学び、命を守る行動ができる備えをしておかなければいけません。

その一つは、心の準備をしっかりとしておくことです。人間は、災害が起きると気が動転して正しい判断や行動ができなくなります。そうならないために、今回の訓練を忘れないようにしましょう。いざという時にどうすればよいか身についていれば、災害が起きた時に慌てず冷静に行動することができます。

もう一つは、家庭で災害に備えて非常用の水や食料などを準備しておくことです。自分自身と大切な家族の命を守るために、災害が起きた時にどんな準備をしておいたらいいか、家族で話し合ってみてください。

【6年生】中学校の先生を招いて 卒業までの心構え

◎1月15日(月)、卒業まであと2か月余りとなった6年生は、浅川中学校、本城中学校の先生方に来ていただき、4月から中学生になるに当たっての心構えについて、次のようなお話を伺いました。

- ①小学校と中学校の違い(学習面、生活面など)
- ②小学校卒業までにやり遂げておいてほしいこと。

中学校の生徒指導の先生や教務主任の先生が、6年生からの質問に答える場面もあり、緊張感のある中にも和やかな雰囲気でお話を聞くことができました。中学校進学に向けて、期待とともに不安も抱えていることと思います。この機会に、「いよいよ中学生になるんだ」という自覚をもって、卒業までの数日間を、充実した日々にしてほしいと願っています。



🌸大谷翔平選手、ありがとう 待望のグローブ届く

◎先日お知らせした通り、児童のみなさんが待ちに待っていた、憧れのメジャーリーガー大谷翔平選手からのグローブが、本校にも届きました。このグローブは、大谷選手が学校に通う子どもたちが野球に興味をもってもらうために立ち上げたプログラムを紹介するためのものだそうです。6年生から順番にグローブに触れて、大谷選手の思いを感動をもって受け止めていました。

大谷選手は、高校1年の時、目標達成シートに、中央の目標(夢)を達成するために必要な要素を記入し、さらにこれらを達成するための具体的な目標をそれぞれ記入したそうです。ひとつの大きな目標を達成するために必要な要素を細かく分けて「叶えたいこと」への道のりを確かなものにしたと言えるでしょう。メジャーリーグの舞台で次々に記録を塗り替える活躍をしている大谷選手ですが、そこに至るまで小さな目標を一つ一つクリアする努力の積み重ねがあったのですね。



大谷翔平選手からのメッセージ

この3つの野球グローブは学校への寄付となります。

それ以上に私はこのグローブが、私たちの次の世代に夢を与え、勇気づけるためのシンボルとなることを望んでいます。それは、野球こそが、私が充実した人生を送る機会を与えてくれたスポーツだからです。

このグローブを学校でお互いに共有し、野球を楽しんでもらえるために、私からの子の個人的なメッセージを学校の生徒たちに伝えていただければ幸いです。

この機会に、グローブの寄贈をさせていただけることに感謝いたします。貴校の益々のご発展をお祈り申し上げます。

野球しようぜ。

大谷翔平

2月の主な予定

- 2日(金)【6年】中学校入学説明会
- 6日(火)【1年】5校時：昔遊び 委員会活動
- 7日(水)朝の読み聞かせ 新1年生入学説明会・体験入学
- 11日(日)建国記念の日 12日(月)振替休日
- 13日(火)クラブ活動 3年生見学
- 15日(木)2校時：学習参観
- 20日(火)クラブ・委員会 振り返り
- 21日(水)朝の読み聞かせ
- 23日(金)天皇誕生日
- 26日(月)～3月1日(金)家庭学習がんばり週間(4校時まで)